

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2018-124291 (P2018-124291A)

【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2018-030

【出願番号】特願 2018-86865 (P2018-86865)

【国際特許分類】

G 0 1 L 9/16 (2006.01)

G 0 1 L 23/24 (2006.01)

G 0 1 L 19/04 (2006.01)

H 0 1 L 41/12 (2006.01)

【F I】

G 0 1 L 9/16

G 0 1 L 23/24

G 0 1 L 19/04

H 0 1 L 41/12

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁歪材から形成され、内側を流れる流体の圧力で変形する筒体と、
前記筒体の歪みによる磁場の変化を検知する検出部と、を備え、
前記筒体は、当該筒体の軸方向において湾曲又は屈曲した周壁部を備え、
前記検出部は、前記筒体と非接触である
圧力センサ。

【請求項 2】

前記検出部は、前記周壁部の外径又は内径が変化する部分の近傍に設けられている
請求項 1 に記載の圧力センサ。

【請求項 3】

前記筒体の周壁部は一定の厚さを有し、前記筒体の軸方向における前記周壁部の一部が
前記筒体の径方向内側又は径方向外側に突出している
請求項 1 又は 2 に記載の圧力センサ。

【請求項 4】

前記筒体の周壁部の厚さが当該筒体の軸方向に沿って変化する
請求項 1 又は 2 に記載の圧力センサ。

【請求項 5】

磁歪材から形成され、内側を流れる流体の圧力で変形する筒体と、
前記筒体の磁場の変化を検知する検出部と、を備え、
前記筒体の周壁部には、当該筒体の軸方向と交差する段差面を備え、
前記検出部は、前記筒体と非接触である
圧力センサ。

【請求項 6】

前記検出部は、前記段差面の近傍に設けられている
請求項 5 に記載の圧力センサ。

【請求項 7】

前記筒体の外周に設けられるとともに、磁束の方向が当該筒体の軸方向と平行な方向を含む磁場を発生させる磁場発生部を備える

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の圧力センサ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決する圧力センサは、磁歪材から形成され、内側を流れる流体の圧力で変形する筒体と、前記筒体の歪みによる磁場の変化を検知する検出部と、を備え、前記筒体は、当該筒体の軸方向において湾曲又は屈曲した周壁部を備え、前記検出部は、前記筒体と非接触である。

上記圧力センサについて、前記検出部は、前記周壁部の外径又は内径が変化する部分の近傍に設けられていることが好ましい。

上記課題を解決する圧力センサは、磁歪材から形成され、内側を流れる流体の圧力で変形する筒体と、前記筒体の磁場の変化を検知する検出部と、を備え、前記筒体の周壁部には、当該筒体の軸方向と交差する段差面を備え、前記検出部は、前記筒体と非接触である

。

上記圧力センサについて、前記検出部は、前記段差面の近傍に設けられていることが好ましい。

上記課題を解決する本発明の一態様の圧力センサは、磁歪材から形成され、内側を流れる流体の圧力で変形する筒体と、前記筒体の歪みによる磁場の変化を検知する検出部と、を備え、前記筒体は、当該筒体の軸方向において湾曲した周壁部（すなわち、筒体の軸線を含む面による断面が湾曲部を有する周壁部、あるいは、筒体の軸線に沿って連続的に厚さが変化する部分を有する周壁部）、又は当該筒体の軸方向において屈曲した周壁部（すなわち、筒体の軸線を含む面による断面が屈曲部を有する周壁部、あるいは、筒体の軸線に沿って段階的に厚さが変化する部分を有する周壁部）を備える。